

宮北隆志先生のご退職に寄せて

社会福祉学部長

高 林 秀 明

宮北隆志先生は、2023年3月をもって、本学をご退職されました。先生は、長年、教育、研究、大学運営にご尽力くださいました。

宮北先生は、1971年、京都大学工学部（衛生工学）に入学され、1975年、京都大学大学院工学研究科（衛生工学）に進み、「騒音受傷性の個人差と耳小骨筋反射」の論文にて修士号を取得されました。1977年4月に熊本大学医学部に助手（衛生学教室）として着任され、1987年に医学博士の学位を取得するとともに講師に就任されました。1991年2月～12月、文部省在外研究員としてスウェーデンのイエテボリ大学やアメリカのノースカロライナ大学等で研究されました。

2003年4月に熊本学園大学社会福祉学部の教授に就任され、福祉環境学科及び同大学院社会福祉学研究科において学生の教育と研究指導に携わり、学生と共にフィールドワークに積極的に取り組まれてきました。2006年8月から熊本学園大学水俣学研究センターの現地研究センター長を、2012年1月から2014年3月まで大学院社会福祉学研究科長を、2016年4月から2017年3月まで社会福祉学部長を歴任されました。2023年4月から熊本学園大学名誉教授となられています。

宮北先生は、衛生工学者として、騒音の健康への影響に関する研究をはじめ、生命と環境についての幅広いテーマの論文・著書を多数発表されています。宮北先生の研究は、生命と生活と人生という3つの「生」を「衛（まもる）」という考え方を基礎に、生命を基本に暮らしと社会のあり様、地球生態系全体をも視野に入れてダイナミックに展開されてきました。

宮北先生は市民活動のリーダーとしても活躍され、1994年に環境ネットワークくまもと（かんくま）を設立され、代表理事として環境分野において多大な地域貢献をされてきました。

私たちは宮北先生のご功績に敬意を表し、その志を受け継いでいく所存です。先生のご尽力に感謝を申し上げますとともに、ますますのご健勝を心よりお祈りしています。

宮北隆志教授 略歴

1971年 昭和46年 4月

京都大学工学部（衛生工学）入学

卒業論文“刈谷農民からの手紙と流域下水道”（1975年）

1975年 昭和50年 4月

京都大学大学院工学研究科（衛生工学）入学

修士論文“騒音受傷性の個人差と耳小骨筋反射”（1977年）

1977年 昭和52年 4月

熊本大学医学部 助手（衛生学教室）

学位論文（医学博士）

“Evaluation of Noise Susceptibility: Effects of Noise exposure on acoustic reflex（—騒音受傷性の評価に関する研究：耳小骨筋反射に及ぼす騒音暴露の影響—）”（1987年）

1987年 昭和62年 4月

熊本大学医学部 講師（衛生学教室）

1991年 2月～12月

文部省在外研究員

スウェーデン イエテボリ大学他

アメリカ ノースカロライナ大学他

1994年

環境ネットワークくまもと

設立（代表理事2007～2017年）

資料1：3つの『生（life）』をまもる「衛生学」（本誌「特別寄稿」参照）

2003年4月～

熊本学園大学教授

社会福祉学部福祉環境学科

社会福祉学研究科

2006年8月～

熊本学園大学水俣学研究センター 運営委員（現地研究センター長 2005～
2022年

資料2：新型コロナウイルス感染症に翻弄される暮らしと社会（本誌「特別
寄稿」参照）

2023年3月

熊本学園大学退職

2023年4月

熊本学園大学 名誉教授